

佐賀偉人伝

幕末明治期に活躍した佐賀の人物を紹介するシリーズ
かれらは未来を信じた、そして切りひらいた

平成26年度3冊刊行 佐賀偉人伝 全15冊 **完結**

13



『伊東玄朴伝』玄文社

伊東玄朴

佐賀偉人伝 13
平成26年11月刊予定
いとうげんぼく

青木歳幸 佐賀大学地域学歴史文化研究センター特命教授

伊東玄朴は、神埼仁比山の農家に生まれ、将軍の主治医にまで栄達した蘭方医です。苦学を重ねて藩医となり、佐賀藩の蘭学の発展に貢献しました。江戸に象先堂を開き後進を育て、牛痘接種法の導入にも尽力し、お玉ヶ池種痘所（のちの東京大学医学部）の設立に中心的な役割を果たしました。本書は医師玄朴の波乱に満ちた生涯を追います。

ISBN978-4-905172-12-3

14



枝吉神陽

佐賀偉人伝 14
平成27年1月刊予定
えだよしんよう

大園隆二郎 元佐賀県近世資料編集室長

副島種臣の実兄で、佐賀藩の尊王派の中心人物が枝吉神陽です。島義勇、大木喬任、江藤新平、大隈重信をはじめ、明治政府で活躍した多くの人々に影響を与えました。明治の世を見ずに早逝しますが、ひとたびこの人に会えば魅了され、畏敬を深めたといわれています。全国に聞こえた枝吉神陽の学識と豪放快活ともいうべき人物像に迫ります。

ISBN978-4-905172-13-0

15



佐賀県立博物館蔵

古賀穀堂

佐賀偉人伝 15
平成27年2月刊予定
こがこくどう

生馬寛信 佐賀大学名誉教授

幕府の御儒者・古賀精里の長男に生まれ、十代藩主・鍋島直正の教育係として、その成長に影響を与えた古賀穀堂は、藩校・弘道館の教授として学校拡充や学制刷新に力を注ぎ、藩政にも深く関わりました。佐賀藩と日本の将来を遠望し、人材輩出の礎となる育成システムを確立した開明的儒学者に、幕末佐賀藩の教育ビジョンの側面から斬りこみます。

ISBN978-4-905172-14-7

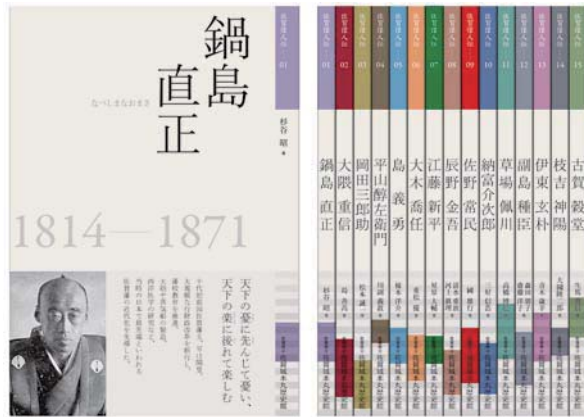


佐賀偉人伝

幕末明治期に活躍した佐賀の人物を紹介するシリーズ

全15冊・A5判・112頁・各952円(本体価格)+税

電子書籍同時刊行 価格:800円(税込) 対象端末:PC・iPad・iPhone・アンドロイド
電子書籍のご購入方法は、「佐賀偉人伝」ホームページ(<http://sagajou.jp/sagaijinden/>)をご覧ください。



鍋島直正 佐賀偉人伝 01 杉谷 昭
佐賀藩が近代化をすすめるにあたって強力なリーダーシップを発揮したのが第10代藩主鍋島直正です。鍋島直正が推進した“抜本的な改革”と“驚くべき挑戦”、さらに、刻々と変化する幕末の政治状況下における決断と動向にも迫ります。 ISBN978-4-905172-00-0

大隈重信 佐賀偉人伝 02 島 善高
不屈の政治家として生涯を貫き、早稲田大学の創設者としても知られる大隈重信。わが国はじめての政党内閣を成立させた政治家としての足跡や、教育へむけた理念などを中心に、さまざまな分野での活躍についても紹介しています。 ISBN978-4-905172-01-7

岡田三郎助 佐賀偉人伝 03 松本誠一
第1回文化勲章受章者である岡田三郎助は、美人画に独特の優美さをそなえ、「色彩の画家」と評されました。東京美術学校(現東京藝術大学)で教鞭を執り、帝国美術院会員、帝室技芸員として美術界を牽引。絵画作品のカラー図版も多数収録。 ISBN978-4-905172-02-4

平山醇左衛門 佐賀偉人伝 04 川副義敦
江戸末期に佐賀藩でいち早く導入された西洋砲術は、武雄領主・鍋島茂義の指揮のもと推進されました。その最前線にあって当時最新鋭の技術導入に奮闘し、めざましく活躍した平山醇左衛門は、突然の斬首という不可解な死を遂げました。 ISBN978-4-905172-03-1

島 義勇 佐賀偉人伝 05 榎本洋介
島義勇は、明治初期に開拓判官として北海道に入り、札幌を中心として都市を建設するために尽力しました。新政府における開拓使設置の目的、初代長官に鍋島直正、判官に島を選任した背景、さらに島の苦難と取組みについて検証します。 ISBN978-4-905172-04-8

大木喬任 佐賀偉人伝 06 重松 優
大木喬任は、明治前期のわが国の制度づくりにたずさわり、とくに初代文部卿として近代的教育の確立に力を尽くしました。深く歴史に学び、経世家として評価された大木が、新しい時代へむけて抱いた構想と功績に切りこみます。 ISBN978-4-905172-05-5

江藤新平 佐賀偉人伝 07 星原大輔
江藤新平は、微禄の武士でありながら藩内で頭角を現わし、明治政府においては、司法や教育をはじめ日本のさまざまな制度づくりに活躍しました。本書は、江藤のさまざまな動きについて、綿密に追跡しながら明らかにしていきます。 ISBN978-4-905172-06-2

辰野金吾 佐賀偉人伝 08 清水重敦・河上眞理
幕末唐津藩で生まれた辰野金吾は、東京駅や日本銀行を手がけるなど、明治期日本の西洋建築の第一人者です。本書は、辰野の足跡をたどり、ヨーロッパ留学時のスケッチブックを手がかりに、辰野の建築様式に新たな見解を提起します。 ISBN978-4-905172-07-9

佐野常民 佐賀偉人伝 09 國 雄行
佐野常民は日本赤十字の父として有名です。また、万国博覧会や内国勸業博覧会などの事業についても尽力しました。本書は、博覧会事業を通してうかがえる佐野の構想や業績を探ることにより、日本の近代化の一側面を描き出します。 ISBN978-4-905172-08-6

納富介次郎 佐賀偉人伝 10 三好信浩
小城出身の納富介次郎は、日本の工芸教育のパイオニアです。海外視察の体験を生かし、日本の伝統工芸を輸出産業に発展させる方策を探求しました。日本各地に「工芸」教育の学校を興し、人づくりに貢献。異色の教育者の生涯を発掘します。 ISBN978-4-905172-09-3

草場佩川 佐賀偉人伝 11 高橋博巳
多久邑に生まれた草場佩川は、二十代半ばにして朝鮮通信使の応接に関わり、その詩文や書画が絶賛されました。のちには弘道館の教授として、文人としても名をとどろかせました。江戸時代に日朝で交わされた友情の軌跡をたどります。 ISBN978-4-905172-10-9

副島種臣 佐賀偉人伝 12 森田朋子・齋藤洋子
副島種臣は明治新国家の構築や黎明期外交に活躍し、一等侍講として天皇の深い寵愛を受けました。本書は、欧米列強からも喝采を浴びた外交上の功績や、政府に注視された政治活動を軸に、知識人たちに敬仰された巨大な姿を追います。 ISBN978-4-905172-11-6

▼ご注文はお近くの書店または佐賀城本丸歴史館へ。佐賀城本丸歴史館からの購入で配送をご希望の場合は、別途、送料と振込手数料が必要です。

佐賀偉人伝		01 鍋島直正 (冊)	05 島 義勇 (冊)	09 佐野常民 (冊)
13 伊東玄朴 【 冊】	既刊	02 大隈重信 (冊)	06 大木喬任 (冊)	10 納富介次郎 (冊)
14 枝吉神陽 【 冊】		03 岡田三郎助 (冊)	07 江藤新平 (冊)	11 草場佩川 (冊)
15 古賀穀堂 【 冊】		04 平山醇左衛門 (冊)	08 辰野金吾 (冊)	12 副島種臣 (冊)

上記内容を申し込みます。

ご住所 (〒 -)

お名前 (フリガナ)

お電話番号